

問17 あなたはこの1ヶ月の間に、実際に超過勤務を何時間しましたか。1997年9月についてお答え下さい。超過勤務手当がつかなかった時間数も含みます。

1. 超過勤務をした 2. 超過勤務はしなかった	→		時間		分	45 46・47 48・49
-----------------------------	---	--	----	--	---	----------------------

問18 夜間の勤務についておたずねします。あなたは、現在夜勤をとまなう勤務をしていますか。

1. 職場に夜勤はない 2. 職場に夜勤はあるが現在は夜勤をしていない（日勤のみ） 3. 三交替制 4. 変則三交替制（日勤・準夜勤・深夜勤各勤務帯の勤務時間の長さが異なるもの） 5. 二交替制・変則二交替制 6. 当直制（夜勤は当直室等で仮眠しながら緊急時に備えるもの） 7. 夜勤専従 8. 婦長当直（夜勤婦長を含む） 9. 寮または自宅待機（緊急時の呼び出しに応じて勤務につくもの） 10. その他の夜勤体制	50・51
--	-------

→ SQ1 「三交替制」や「変則三交替制」で勤務をしている方におたずねします。

A. 1997年9月の準夜勤・深夜勤のそれぞれの回数をお答え下さい。

準夜勤		回	深夜勤		回	52・53 54・55
-----	--	---	-----	--	---	----------------

B. また、夜間看護手当は1回につきいくらぐらいですか。夜間（深夜）割増分を除いた定額分について、準夜勤・深夜勤別にお答え下さい。

準夜勤1回		円	深夜勤1回		円	56-60 61-65
-------	--	---	-------	--	---	----------------

→ SQ2 「二交替制・変則二交替制」や「当直制」で勤務をしている方におたずねします。

A. 1997年9月の夜勤の回数をお答え下さい 夜勤・当直

	回	66・67
--	---	-------

B. また、夜間看護手当は1回につきいくらですか。夜間（深夜）割増分を除いた定額分について、お答え下さい。

夜勤または当直1回		円	68-72
-----------	--	---	-------

**[現在二交代制勤務をしている方におたずねします]**

問19 あなたが現在の二交代制勤務をはじめどれぐらいたちますか。  
※過去に勤務した病院等での二交代制勤務の経験は除いてお答えください

A 満  年  ヶ月 73・74  
75・76

B 今までに三交代制勤務をした経験がありますか。

1. ある（現在の勤務先で） 2. ある（現在とは違う勤務先で） 3. ない
--

77

C 次の4点について三交代制・二交代制を比較してください。  
 ※三交代制勤務の経験のない方も、三交代制勤務を想定して可能な範囲でお答えください。

疲 労 感	1. 三交代制の方が疲れにくい 3. どちらともいえない	2. 二交代制の方が疲れにくい	78
私生活との両立のしやすさ	1. 三交代制の方がよい 3. どちらともいえない	2. 二交代制の方がよい	79
業務遂行上の「ゆとり」	1. 三交代制の方がよい 3. どちらともいえない	2. 二交代制の方がよい	80
患者サービスの質	1. 三交代制の方がよい 3. どちらともいえない	2. 二交代制の方がよい	81

問20 あなたの所定の週休形態について、該当するものにひとつだけ○をつけて下さい。

1. 週休1日	2. 週休1日半(半日とは土曜日などの半日勤務)
3. 完全週休2日	4. 月3回週休2日
5. 月2回週休2日(隔週週休2日・4週6体制を含む)	6. 月1回週休2日(4週5体制を含む)
7. その他 ( )	

問21 あなたの昨年1年間の有給休暇についておたずねします。

有給休暇とは別に定められている年末年始の休暇や夏期休暇などは除いてお答え下さい。

A. あなたの昨年の所定有給休暇は何日でしたか。ただし、前年度の繰越分は含みません。

.....   日

83・84

B. あなたは、昨年1年間に有給休暇を何日取りましたか。.....

日

85・86

87

問22 あなたの職場では、介護休暇制度が設けられていますか。

1. 介護休暇制度がある
2. 介護休暇制度はない
3. 介護休暇制度があるかどうかわからない

88

問23 1ヶ月の収入についておたずねします。できましたら1997年10月の給料明細書をご用意下さい。

あなたの給与総額、及び基本給額はそれぞれおいくらですか。

なお、自営業主の方は、必要経費を差し引いた実収入額を月平均になおし、税込給与総額としてその項だけお答え下さい。

A. 税込給与総額 (基本給に調整手当・夜勤手当等の諸手当を含めた総額) .....       円 89-94

B. 基本給額 .....       円 95-100

C. 時給 (時給で支払いを受けている臨時職員・パート・アルバイトの方がお答え下さい。) .....     円/時間 101-104

[問24～問26は、1994年12月以降に仕事を続けながら妊娠・出産を経験された方だけにおたずねします。それ以外の方は、問27にお進み下さい。]

問24 あなたは、実際に産後に休暇を何週間取りましたか。又、その内訳もお答え下さい。

産後に実際に取った休暇……………	計	<input type="text"/>	週	105・106
内訳：産後休暇として……………		<input type="text"/>	週	107・108
年次休暇として……………		<input type="text"/>	週	109・110
育児休暇（業）として（産休の終了時から数え始めて）……………		<input type="text"/>	週	111・112
その他（……………）……………		<input type="text"/>	週	113・114

問25 あなたは、産前にどのような母性保護及び育児支援措置を受けましたか。

当てはまるものすべてに○をつけて下さい。

1. 夜勤・当直免除	2. 夜勤・当直日数の軽減	3. 超過勤務免除
4. 時差通勤	5. つわり休暇	6. 通院休暇
7. 配置転換	8. その他の措置（……………）	
9. 特に措置は受けなかった		

115-123

→ 妊娠何ヶ月目からの免除でしたか。  ヶ月目 124・125

問26 また、産後にどのような母性保護及び育児支援措置を受けましたか。

当てはまるものすべてに○をつけて下さい。

1. 夜勤・当直免除	2. 夜勤・当直日数の軽減	3. 超過勤務免除
4. 育児時間	5. 育児休業・休暇	6. 勤務時間の短縮
7. 出退時間への配慮	8. 乳児検診休暇	9. 病児看護休暇
10. 配置転換	11. その他の措置（……………）	
12. 特に措置は受けなかった		

126-137

→ 出産後何ヶ月までの免除でしたか。  ヶ月 138・139

[喫煙習慣についておたずねします]

問27 あなたは今まで、半年以上にわたってタバコを吸っていたことがありますか。

1. はい（……………歳ごろから）	2. いいえ → 問31へ
-------------------	---------------

140  
141・142

→ S Q 問27で①と答えた方にうかがいます。  
現在も、あなたはタバコを吸っていますか。

1. 毎日吸っている	2. 時々吸う	3. いいえ（やめたのは、……………歳ごろ）
------------	---------	------------------------

143  
144・145

問28 タバコを吸ったきっかけは何ですか。該当するものすべてに○をつけて下さい。

- |                   |                |                  |
|-------------------|----------------|------------------|
| 1. 親や兄弟が喫煙をしていたから | 2. 友人の影響       | 3. 同僚や先輩の影響      |
| 4. ファッションナブルだから   | 5. TVや雑誌のCMを見て | 6. ダイエット(やせる)のため |
| 7. 疲れていたから        | 8. イライラしていたから  | 9. 眠気をさますため      |
| 10. 好奇心           | 11. その他 ( )    |                  |

146-156

問29 あなたは禁煙を試みたことがありますか。

- |                     |                            |
|---------------------|----------------------------|
| 1. 禁煙を試みて成功した。      | 2. 現在、禁煙を試みている。(禁煙中である)    |
| 3. 禁煙を試みたが、成功しなかった。 | 4. 禁煙を考えたことはあるが、何もしたことはない。 |
| 5. 禁煙を考えたことはない。     | 6. その他 ( )                 |

157

問30 あなたは喫煙について次の意見にどうお考えですか。賛成する意見すべてに○をつけて下さい。

- |                                    |
|------------------------------------|
| 1. 胎児や子どもの健康のために、喫煙すべきではない。        |
| 2. 自分の健康上、喫煙は好ましくない。               |
| 3. 女性の喫煙は好ましくない。                   |
| 4. 時と場所を選べば、喫煙は個人の自由である。           |
| 5. 医療従事者として、喫煙は好ましくない。             |
| 6. 医療従事者であっても、勤務時間外の喫煙は自由である。      |
| 7. 医療従事者であることと喫煙とは関係がない(個人の問題である)。 |

158-164

**【日本看護協会が実施している資格認定制度についておたずねします】**

問31 あなたは、日本看護協会が実施している以下の資格認定制度をご存じですか。該当する項目すべてに○をつけて下さい。

制 度	内容を知っている	聞いたことがある	知らない
専 門 看 護 師 制 度			
認 定 看 護 師 制 度			
認定看護管理者資格認定制度			

165-167

問32 あなたは看護ケアの質の向上や改善をはかる上で、どのような分野の看護の専門家(専門看護師、認定看護師等)が必要と考えますか。該当するものすべてに○をつけて下さい。

- |                 |            |                |           |
|-----------------|------------|----------------|-----------|
| 1. 精神看護(リエゾン含む) | 2. がん看護    | 3. 地域看護        | 4. 母性看護   |
| 5. 老人看護         | 6. 小児看護    | 7. 難病看護        | 8. 看護管理   |
| 9. リハビリテーション看護  | 10. 感染管理   | 11. NICU看護     | 12. 透析看護  |
| 13. がん性疼痛緩和     | 14. がん化学療法 | 15. 慢性疾患患者教育指導 |           |
| 16. 訪問看護        | 17. ホスピスケア | 18. 臓器移植       | 19. 産業看護  |
| 20. その他 ( )     |            | 21. 必要とは思わない   | 22. わからない |

168-189

問33 あなたは看護ケアの質の向上や改善をはかる上で、看護の専門家（専門看護師、認定看護師等）にどのようなサポートを求めますか。該当するものすべてに○をつけて下さい。

- |                     |                          |
|---------------------|--------------------------|
| 1. 専門分野に関する最新の知識・技術 | 2. 具体的なケア方法についての助言       |
| 3. 自分が行なったケアの評価     | 4. 患者・家族への教育指導           |
| 5. 退院への援助           | 6. 患者・家族の精神的問題への対応       |
| 7. 看護婦のメンタルヘルスへの支援  | 8. 他職種や他機関とのケアやサービスの連絡調整 |
| 9. 福祉サービス等の社会資源の活用  | 10. 患者－看護婦間の関係調整         |
| 11. 患者－医師間の関係調整     | 12. 看護婦－医師間の関係調整         |
| 13. 研究指導            | 14. 学習会・スタッフ教育等の企画運営     |
| 15. その他 ( )         |                          |
| 16. 特にない            | 17. わからない                |

190-206

【社会の変化とあなたの将来の希望についておたずねします】

問34 保健・医療・福祉のサービス提供システムの変革を含めた急激な社会の変化を、看護職であるあなたはどのように思われますか。

- |                     |                     |
|---------------------|---------------------|
| 1. どちらかというよい傾向、よい時期 | 2. どちらかという悪い傾向、悪い時期 |
| 3. 何も変わらない・影響はない    | 4. よくわからない          |

207

問35 あなたは、保健・医療・福祉のサービス提供システムの変革期にあたって、看護職に求められる知識や技術、能力が変化してきていると思いますか。

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

208

→ S.Q. 問35で1. はいと答えた方いらっしゃいます。具体的に、どのような知識や技術、能力があなたに求められてきているとお考えですか。該当するものすべてに○をつけて下さい。

- |                                     |
|-------------------------------------|
| 1. 臓器移植や遺伝子治療など最先端の医療技術に関する知識と技術    |
| 2. ターミナルケアに関する知識と技術                 |
| 3. 感染症管理に関する知識と技術                   |
| 4. 在宅ケア・訪問看護に関する知識と技術               |
| 5. カウンセリングなど、より高度な相談・教育・指導技術        |
| 6. サービス対象者の満足につながる接遇やセンス            |
| 7. 多職種や他機関とのケアやサービスの連携調整といったマネジメント力 |
| 8. 看護ケアの評価といった看護管理力                 |
| 9. 効率的運営、人事管理といった経営管理力              |
| 10. 福祉政策や社会福祉サービスに関する知識             |
| 11. 調査研究力                           |
| 12. 事業の企画・起案力                       |
| 13. 施策の動向に関する理解                     |
| 14. 利用者・顧客獲得などの営業力                  |
| 15. 外国語の習得や異文化に対する理解                |
| 16. コンピュータ操作や情報管理力                  |
| 17. その他 ( )                         |

209-225

問36 あなたは、新たに学位や資格を取得しようとお考えですか。

1. はい 2. いいえ

226

→ S Q 問36で1. はいと答えた方にうかがいます。

具体的にどのような学位や資格を取得しようとお考えですか。該当するものすべてに○をつけて下さい。

- |                   |                            |              |
|-------------------|----------------------------|--------------|
| 1. 学士(看護系)        | 2. 学士(看護系以外)               | 3. 修士(看護系)   |
| 4. 修士(看護系以外)      | 5. 博士(看護系)                 | 5. 博士(看護系以外) |
| 6. (正)看護婦免許       | 7. 助産婦免許                   | 8. 保健婦免許     |
| 9. 認定看護師(救急)      | 10. 認定看護師(創傷・オストミー失禁(WOC)) |              |
| 11. 認定看護師(重症集中ケア) | 12. 専門看護師(精神(リエゾンを含む))     |              |
| 13. 専門看護師(地域)     | 14. 専門看護師(がん)              | 15. 認定看護管理者  |
| 16. 救急救命士         | 17. 臓器移植コーディネータ            | 18. 社会福祉士    |
| 19. 介護福祉士         | 20. ケアマネジャー(介護支援専門員)       |              |
| 21. その他( )        |                            |              |

227-248

問37 あなたが職場や働き方を選ぶ上でもっとも重視しているのは、次のうちどれですか。該当するものをひとつだけ選んでください。

- |                 |                      |
|-----------------|----------------------|
| 1. 収入がよい        | 2. 仕事が楽(らく)          |
| 3. 私生活と両立できる    | 4. 資格取得や趣味のための時間が取れる |
| 5. キャリアアップにつながる | 6. 納得がいく看護ができる       |

249

問38 あなたは今後、どのような形で仕事を継続していきたいとお考えですか。

- |   |
|---|
| 1. 就業形態に関わらず、何らかの形で働きつづける。              |
| 2. 結婚、出産、介護といった人生の転機に応じて離職はするが、再就職を試みる。 |
| 3. 結婚、出産、介護といった私生活を優先させ、それを機会に離職する。     |

250

問39 あなたは今後、看護職として仕事を継続していきたいとお考えですか。

- |                                       |
|---------------------------------------|
| 1. 看護職として働きつづけたい。                     |
| 2. 看護職であるかどうかにはこだわらず、興味や関心の持てる仕事をしたい。 |
| 3. 看護職以外の仕事に従事したい。                    |
| 4. できれば離職したい。                         |

251

↓  
S Q 問39で1. 2. 3. と答えた方にうかがいます。

具体的にどのような職種や職場をお考えでしょうか。

1) 職位(希望するものにひとつだけ○をつけて下さい)

- |                  |        |           |
|------------------|--------|-----------|
| 1. スタッフ          | 2. 管理者 | 3. 教育・研究者 |
| 4. スペシャリスト(具体的に) |        | )         |
| 5. その他( )        |        | )         |

252

2) 職場 (希望するものすべてに○をつけて下さい)

1. 病 院	9. 企業等の健康管理部門
2. 診 療 所	10. 看護系教育・研究機関
3. 訪問看護ステーション・在宅介護支援センター	11. 看護系以外の教育・研究機関
4. 検診(健診)センター等の検診(健診)専門施設	12. 老人保健施設・老人福祉施設
5. 保 健 所	13. 老人以外の社会福祉施設
6. 市 区 町 村 (市区町村保健センター・福祉環境部門を含む)	14. 一 般 企 業
7. 省庁・都道府県庁 (福祉環境部門・社協を含む)	15. 国際援助機関やN G O ・ボランティ ア団体
8. 学校(大学を含む)の保健室・健康管理部門	16. 自 営 業 ( )
	17. そ の 他 ( )

253-269

【日常業務上、ぶつかる悩みについておたずねします】

問40 あなたは、以下のような場面で悩んだりしますか。また実際に直面したことがありますか。  
該当する項目に○をつけて下さい。

問	質 問 項 目	悩む	直面した
1	対象者(患者)が自分の診断名や治療法などを知りたいであろうと思われるがそれに答えられないとき		
2	対象者(患者)のプライバシーや秘密が守りきれないと感じるがどうにもならないとき		
3	対象者(患者)のニーズを満たす事が他の対象者(患者)のニーズに相反すると感じる時(例:感染症であるという秘密を守るべきか、他者への感染予防のために情報を公開したほうがよいか)		
4	対象者(患者)もしくはその家族が虐待をする、あるいは虐待をされているがその解決への介入や援助を拒否されたり、介入や援助をする事に困難を感じる時		
5	自分の能力を超える仕事をしなければならず、自分の知識や技術に自信が持てないがやらなければならないとき		
6	体重のコントロールや禁煙など、自分自身が管理できていないことを対象者(患者)に指導しなくてはならないとき		
7	同僚の判断やケアが適当ではないと感じるが、その事実を指摘できなかつたり、黙認しなくてはならないとき		
8	医師の指示が対象者(患者)にとって最善ではないと感じるが、それを医師に伝えることができなかつたり、その指示に従わなくてはならないとき		
9	特定対象(患者)の「VIP待遇」のように、対象者(患者)に平等な対応が出来ないとき		
10	病院など自分が勤める組織の極端な営利的経営方針に抵抗を感じるが従わなくてはならないとき		
11	医療事故の処理過程で、事実と反する証言などをしなくてはならなかつたり、真実を伝えられないようなとき		
12	人手があれば実施する必要のない抑制をしなくてはならないとき		
13	治験や臨床研究などを行う際に、必ずしも対象者(患者)の利益になっていないと感じるが関わらざるをえないとき		
14	プラシーボ(偽薬)の使用に関わらなくてはならないとき		
15	臓器移植などの先進医療や出生前診断-人工妊娠中絶といった、より生命のあり方に踏み込んだ行為に関わる時		
16	ターミナル期に行われている治療やケアが対象者(患者)にとって最善ではないと感じるが、状況の改善が出来ないとき		
17	実習中の看護学生・生徒に業務の一端を担わせていると感じたとき		
18	看護学生・生徒が行った援助技術によって、対象者(患者)に精神的・肉体的負担が生じたと思われるとき		

270-305

問41 あなたは問40のような場面で悩んだとき、どのような対応をしますか。  
該当するものをすべてに○をつけて下さい。

- |                        |                  |
|------------------------|------------------|
| 1. ひとりで悩む              | 2. 文献などを読む       |
| 3. 第三者に相談する            | 4. 関係者(当事者)と話し合う |
| 5. 職場の倫理委員会など、公の場に持ち込む | 6. 深く考えないようにする   |
| 7. 解決の手段がないので、そのままにする  | 8. 該当するものがない     |

306-313

問42 あなたは、日本看護協会が発行している「看護婦の倫理規定」を活用した事がありますか。

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

314

問43 あなたの職場には、倫理委員会及びそれに準ずるものがありますか。

- |       |       |          |
|-------|-------|----------|
| 1. ある | 2. ない | 3. 分からない |
|-------|-------|----------|

315

▶ S Q 問43で1)と答えた方にうかがいます。  
その委員会に、看護職員がメンバーとして参加していますか。

- |       |        |          |
|-------|--------|----------|
| 1. いる | 2. いない | 3. 分からない |
|-------|--------|----------|

316

問44 あなたの職場には、看護職員自身が看護に関する倫理の問題を検討する場や機会をもっていますか。

- |       |        |          |
|-------|--------|----------|
| 1. はい | 2. いいえ | 3. 分からない |
|-------|--------|----------|

317

**[コンピューターの利用についておたずねいたします]**

問45 あなたは現在コンピューターをお使いですか

- |                  |
|------------------|
| 1. 職場でのみ使っている    |
| 2. 自宅でのみ使っている    |
| 3. 職場でも自宅でも使っている |
| 4. 使っていない        |

318

▶ S Q 1 問45で4.とお答えの方におたずねします。今後使いたいと思いますか

- |           |           |
|-----------|-----------|
| 1. 使ってみたい | 2. 使う気はない |
|-----------|-----------|

319

▶ S Q 2 問45で4.とお答えの方におたずねします。コンピューターを使わなかった理由は何ですか。  
主な理由1つに○をつけてください

- |                   |              |
|-------------------|--------------|
| 1. 身近に教えてくれる人がいない | 2. 必要を感じなかった |
| 3. むづかしそう         | 4. 機械が苦手     |
| 5. 使う機会が無かった      | 6. その他 ( )   |

320



問46 コンピューターを使ってどのようなことをやってみたいと思いますか。  
興味のあることすべてに○をつけてください

1. 文書作成	2. 文献検索	3. 統計処理	4. インターネット
5. 電子メール	6. スキャナー	7. デジタルカメラ	8. CD-ROM
9. グラフィック	10. 名簿管理	11. 家計簿	12. ゲーム
13. 勤務表作成	14. 看護診断	15. 看護計画の立案	16. 患者情報の管理

321-336

問47 あなたはご自分の電子メールアドレスをお持ちですか

1. 持っている	2. 持っていない
----------	-----------

337

問48 看護協会が行っているインターネットホームページに関しておたずねします。  
該当する番号1つに○をつけてください。

1. みたことがある
2. 知っているがみたことはない
3. 知らない

338

質問は以上です。ご面倒ですが、最後にもう一度、「記入漏れがないかどうかをご確認ください。  
長い間、ご協力ありがとうございました。

日本看護協会に対するご意見ご要望がありましたら、ご自由にお書き下さい。

339